

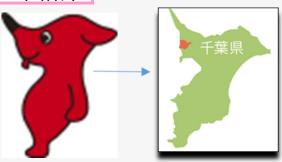
松戸市役所は「松戸市民のために役立つ人のいる所」 市民にわかりやすく、利用しやすい市役所を目指しています。 約70名の保健師がさまざまな分野で活動しています。 市民の健康を一緒につくり、守りませんか? みなさんの入庁を心よりお待ちしてます!



保健師の主な配属先と施設



松戸市紹介



都心から20km圏内。豊かな自然を残しながら、首都圏のベッドタウンとして発展しています。

人口:498,893人(令和6年3月31日現在) 年間出生数:2,971人(令和5年度)

高齢者人口:129,047人(令和6年3月31日現在)

高齢化率:25.9%





松戸市役所本庁舎 人事課 医務室 職員の健康支援 健康医療政策課 感染症・災害医療対策 社会福祉法人の認可及 指導監査課 び指導監査 高齢者支援課 高齢者対策 地域包括ケア 高齢者の支援 推進課 ←詳しくは4ページ 子ども未来応援課 地域の子育て支援

中央保健福祉センター

健康推進課	成人高齢者の健康づくり
	→詳しくは3ページ
健康推進課	成人のがん検診、特定健
健診担当室	康診査等に関すること
予防衛生課	予防接種に関すること
こども家庭センター	子ども家庭相談
こども家庭センター	母子の健康支援
母子保健担当室	→詳しくは2ページ

小金保健福祉センター

こども家庭センター 母子の健康支援母子保健担当室 →詳しくは2ページ

健康福祉会館(ふれあい22)

障がいや発達に心配 こども発達センター のある方(お子さん)の支援

常盤平保健福祉センター

こども家庭センター 母子の健康支援母子保健担当室 →詳しくは2ページ

市立病院

総合医療センター 職員の健康支援 健康管理室

統括保健師紹介



現在、松戸市で初めての統括保健師として、その役割を考えつつ、日々業務に向き合っています。庁内の保健師は分散配置となっていますが、保健師連携推進会議等を通じ、各分野の情報を互いに共有しています。また、定期的に面談を行い、現場の声を聴くように努めています。更に、松戸市には自分たちで策定した保健師活動指針や人材育成マニュアルがあり、新任期はもちろん、中堅期以降も目指す保健師像に向かってスキルアップに励んでいます。

また、私自身、育児休暇を3回取得しながら、職場や家庭の理解と協力のお陰 で、子育てと仕事を両立させることができました。

ぜひ私たちと一緒に松戸市で保健師活動に取り組みましょう。

親子を選予分野

こども家庭センター母子保健担当室

教室

🦱 妊産、出産、子育て期までの切れ目のない支援 🥌 子ども総合計画(母子保健計画包含)推進

母子分野 主な業務

相談

訪問

健診

健康 教育 児童虐 待予防

母子健康手帳交付

松戸市親子すこやかプラン

数戸市では、お子さんの置やかな水泉と子青でを支えるため。 へ。 Gio、出席、子青でを支援するだめの根々なサービスを行っています。

妊娠・出産 から子育で期全般相談 大保護福祉センター:保護別、栄養土、歯判等生士が、母子の健康や育児、歯切 動についての相談を受けています。

★銀子すこやかセンター: 保護線、社会福祉士、助車師が、妊娠中から母子保護 南見支援サービス等を利用できるよう相談を受けています。

各等	4553	=	所在地
中央保護福祉化学	047- 300-7489	271-	松戸市竹ヶ花 74-3

こども家庭センタ



乳児家庭全戸訪問

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭に保健師・助産が訪問。訪問時に絵をプレゼント。EPDS(産び質問票)に記入してでき支援につなげています。また、産科医療機関とも密に連携しています。



組織体制

全保す年を5有をて化防したいない。 生保す年を5有をて化防した。 では、か子にはいる。 ではいるではいる。 ではいる。 でいる。 でい

保健福祉センター(母子保健担当)

- ・すべての妊産婦・乳幼児に対応
- ・母子保健事業(幼児健診、ママパパ学級等)

役割分担·連携

親子すこやかセンター(子育て世代包括支援センター)

・保健師・助産師・社会福祉士を配置し、連携して対応・特に手厚い支援の必要な妊産婦・乳幼児に対応



役割分担·連携

家庭児童相談担当(子ども家庭総合支援拠点)

要保護児童対策地域協議会の調整機関

母子分野の若手職員



木川 保健師

6年目

こども家庭センター

母子保健担当室所属

松戸市に入ったきっかけは?

地域で活躍する保健師の存在に憧れ、市町村保健師としての就職を目指していました。 松戸市に就職したいと思ったきっかけは、「健康松戸21Ⅲ」の推進に向け、基本理念の フレーズ「市民が主役」となって健康づくりに取り組む姿勢に魅力を感じたことです。

保健師になって良かったことは?

入職前はこどもと関わる機会が少なく不安を感じていましたが、トレーナーや周りの先輩に相談しながら、家庭訪問等で経験を積むことで少しずつ自信を付けることができました。こどもと保護者が抱える課題に寄り添い一緒に悩む中で、その課題が解決されたときには「保健師になって良かった」と感じます。

木川保健師

 \mathcal{O}

1日

10:30~12:15 家庭訪問·移動

担当地区の妊婦や乳幼児がいる家庭に、自転車 や自動車等で訪問します。時にはこども家庭センターなど保健師以外の職員と同行することも あります。

9:00~10:30 準備·移動

訪問計画を立て、持参する資料や物品 を準備します。センターでの在席時に は、電話対応や来所した市民の窓口対 応を平行して行います。

8:30~9:00 ミーティング・資料確認

ミーティングでは、センター職員のスケジュールや連絡事項を共有します。前日までのメールや資料を確認し、 I 日の段取りを組みます。

12:15~13:00 昼休み

昼休みは中央保健福祉センターでいただきま す。カレーのお弁当も頼めます。

13:00~15:00 訪問記録

訪問結果やアセスメント内容等を記録し、 上司に確認していただきます。必要時、カ ンファレンスを実施し、今後の方向性や他 機関への連絡を検討します。

15:00~17:00 事業準備

担当している事業を円滑に実施するため、 事前に計画し資料等を準備します。他部署 や千葉県からの依頼に基づき、実績や分析 結果を報告することもあります。

_ 17:00 退勤

帰宅後はのんびり過ごすことが多いです。 友人や家族と外食することもあります。

市民の健康づくり

健康推進課

🥟 健康まつど21(健康増進計画)の推進

地域の健康づくり

成人分野 主な業務

健康 教育 健康 相談

健康推進 員育成 健診 自検診 対

自殺対策

フレイル 予防

健康教育 · 健康相談

地域に出向き、健康づくり に関する様々なテーマの講 座を開催しています。

また、健康診査結果に基づ く保健指導や禁煙相談など の個別支援を行っていま す。





健康推進員育成

地域の健康づくりを推進する人材である健康推進員の 育成を行っています。

ウォーキングマップの作成 や、各地区で開催されるイ ベント会場での普及啓発な ど、地域に根付いた活動が できるよう支援します。





まつど健康ハッピーフェスタ

市民の健康づくり推進する 企業・団体である[健康松 戸21応援団]と協働し、子 どもから大人まで、楽し ながら健康づくりを体験で きるイベントを毎年開催し ています。









地域保健分野の若手職員



松田 保健師

7年目 健康推進課所属

松戸市に入ったきっかけは?

看護実習で患者さんと向き合う中で、病気にならないためにできることはないか考えるようになり、予防のために働ける保健師を志望しました。地元が好きだったこともあり、「保健師として地域で働くなら松戸市がいい」という思いがあり入庁しました。

入庁者へのメッセージをお願いします

保健師として活動していく中で、地域のイベントや健康教育、家庭訪問など市民との触れ合いを通して、地域の歴史や住民の繋がりなど地域をより深く知ることができました。

大変だと感じることもありますが、市民の皆さんからの「ありがとう」や「保健師さん に話を聴いてもらえてよかった」など直接いただける声が自分自身の活力に繋がってい ると感じています。

松田保健師

1日

10:30~12:15 健康相談

健康相談は随時受付けています。継続支援が 必要な方は、地区担当保健師が支援を行いま す。また、必要に応じて、カンファレンスを 実施します。

8:45~10:30 保健師会議

業務の進捗状況の共有や課題・今後の 方向性の検討などを行っています。担 当している業務で困っていることも相 談できるので、一人で抱えこむ心配は ありません。

8:30~8:45

朝礼・スケジュール確認

班全体のスケジュールや連絡事項を 共有します。メールや庁内電子掲示 板を確認し、提出物等がないか確認 します。

12:15~13:00 昼休み

予定によっては外で食べることもあります。

13:00~15:00 健康教育

テーマによっては、講義だけでなく、測定 (握力や滑舌等)や体操なども実施します。 移動の機会に地区踏査しながら、地域の情報 を集めています。

15:00~17:00 事務処理

健康相談の記録や健康教育後のアンケート集計、報告書などを作成します。事務作業を行いながらも、電話相談や問い合わせなどの対応を行っています。

17:00 退勤

帰宅後はゆっくりと自分の好きなことをして 過ごしています。保健師の同僚はもちろん、 事務職などの同期とご飯に行く日もありま す。こうした繋がりも大切にしています。

高齢者支援課・地域包括ケア推進課

生涯現役社会の実現・健康寿命の延伸

地域包括ケアシステムの深化・推進

社会参加 就労支援

介護予防 認知症施策 高齢者の 総合相談 在宅医療介護 連携推進

計画の企画・ 立案·進行管理

本市では、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画である、いきいき安心プランの基本理念 「高齢者がいつまでもいきいきと暮らせるまちを目指して」に基づき、高齢者の社会参加の 促進とフレイル予防・介護予防を支援する取組みを進めています。

地域包括ケアシステムの深化推進

可能な限り、住みなれた自宅や地域で生活し続け られるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援 を包括的に確保する体制を推進しています。

包括的な相談支援体制の充実

複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、 属性や世代問わない相談支援を推進するととも に、支援機関のネットワークを活用し課題解決を 目指しています。

また、多様な生活ニーズに対し、地域の様々な社 会資源の活用等を通じて、介護予防や地域の支え 合いの実現を目指しています。

基幹型地域包括支援センターとして

住民に身近な場に設置された市内15か所の地域包括 支援センターとともに、高齢者の支援を行っていま す。地域包括ケア推進課では基幹型地域包括支援セ ンターとして、地域包括支援センターの総合調整、 後方支援等を行っています。

地域包括支援センターでは、主任介護支援専門員、 社会福祉士、保健師の3職種がチームアプローチで 支援を進めています。保健師は健康や医療的な観点 から高齢者の支援を行っています。





松戸市虐待防止推進 キャラクター「ハートはと」

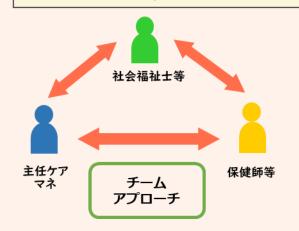
松戸市役所本庁 地域包括ケア推進課

基幹型地域包括支援センター



総合調整 後方支援

圏域担当の包括センター(委託型) 15力所





主任保健師

9年目

地域包括ケア推進課所属

令和6.3.31現在

松戸市に入ったきっかけは?

健康に不安や困り事を抱える方に対して、身近な場で相談・支援ができる医療職になり たく、市町村保健師を希望しました。松戸市は、住民の方の健康を支える先駆的な施策 があることを知り、応募しました。



やりがいは?

市役所に入庁し、保健師だけでなく、市役所内の多職種、多分野の方々と出会い、とも に仕事をする中で、幅広い知識や視点を学ばせていただきました。不安な時、困った時 も、皆で考えチームアプローチを進めていく体制を心強く感じています。また、地域の 方々、市役所外の関係機関の方々とのつながりに支えられ、ともにより良い松戸市を考 えていくことができました。

たくさんの出会いが待っています。ぜひ松戸市で一緒に働きましょう。

12:15~13:00 昼食

13:00~15:00

10:00~12:00 訪問

市民の方のご自宅へ訪問すること や、地域の関係機関などへ情報共 有等に伺うこともあります。

9:00~10:00

地域包括支援センターと会議

基幹型地域包括支援センターとし て、担当地区の地域包括支援セン ターと情報共有を行います

8:30~9:00 ミーティング

課内の職員と、情報共有や困り事の 相談、課題解決に向けた検討を行います

18:00~ 帰宅

一人で 抱えず、皆で考える 体制を大切にしています

家族と過ごしたり、職場の人や 同期と過ごすこともあります。 プライベートも大切にできる 職場環境です。

笠井保健師

の1日

個別支援や地域課題の解決のため、 多職種・多機関との会議の機会を多く設 けています。最近ではオンラインの活用 も進んできました。

15:00~16:50

リフレッシュを大切にしています 地域の関係者との会議

事業運営の検討・準備

高齢者の支援に有効な事業展開について、 法的根拠や最新通知等ふまえ検討します。 課内の職員や関係部署の職員と検討する ことも多いです。

16:50~17:00 ミーティング

課内の職員と、I日の業務の情報共 有や明日への引継ぎ、必要時相談や 検討を行います。

業務体制

地域の特性に応じた活動を推進するため、各分野においては業務分担制と地区分担制を 併用しています。本市においても法改正の影響などにより保健師の分散配置が進み、直 接的な市民への保健サービスだけではなく、政策への積極的な関与や、障がい、虐待な どに関する福祉分野での活動にかかわるなど、その役割は広がってきています。

松戸市保健師連携推進会議

庁内の管理職保健師により構成される「松戸市保健師連携推進会議」を開催し、災害時保健医療活動や糖尿病対策等、包括的な地域保健体制の構築に向けた取り組みを推進しています。

人材育成 研修制度

松戸市では、新規採用職員に、入庁半年間はトレーナーと呼ばれる先輩職員が各職場で | 対 | でつき、OJTシートにより各業務の習熟度を確認しながら育成を行います。 仕事のことはもちろん、社会人の先輩としていろいろな相談もできるので安心です。

専門的能力の育成のためには、「新任保健師育成プログラム」により採用年度から3年間、スタッフ全員が協力して新任保健師育成に当たります。また、「松戸市における保健師の活動指針」により、松戸市の保健師活動の変遷や現状、今後の保健師としての活動の方向性について共通認識を図っています。さらに、「松戸市保健師現任教育マニュアル」を基に、OJT(職場内研修)、OFF-JT(職場外研修)、自己啓発、ジョブローテーションを4本の柱として、新任期、中堅機、管理期において保健活動到達状況チェックリストを活用し、保健師の活動領域ごとに求められる能力の獲得に向けて、業務を行っています。

研修については、庁内の「公務員倫理」「財政・会計」等の行政職員としての研修の他、専門職として、千葉県主催の階層別研修や外部研修等への参加を通して必要な能力・技術を習得できます。

松戸市職員採用情報ページ

https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/soumu-saiyou/syokuinsaiyou/index.html



